

第3回 奈良県公共事業評価監視委員会 補足説明

○一般国道168号新天辻工区

水文調査費の内訳は何か。

- ・水文調査は、1年間で以下の観測を予定しています。

河川流量観測	10箇所・12回
河川渇水期流量観測	22箇所・1回
井戸水位・水量観測	22箇所・12回
トンネル湧水観測	2箇所・12回
採水・水質分析	24箇所・2回

これらの費用は1年間で約30百万円となり、工事終了まで(16年間)約480百万円となります。

- ・各種観測箇所、回数について毎年解析を行い、必要に応じ見直します。

渇水の影響が出た場合の対策費用は見込んでいるか

- ・現時点では、渇水対策費用は見込んでいません。渇水の影響が出た場合、過去事例から、B/Cを再度算出したところ、1.02となります。
- ・対策にあたっては、新技術の採用など、コスト縮減に努めていきます。

○一般国道169号御所高取バイパス

用地買収率が低い何か課題はあるのか。文化財はあるのか。

- ・御所高取バイパスについては、平成29年度に事業化し、令和元年度に都市計画決定を行ってしています。令和2年度から、地元にご協力いただきながら、現地測量、ボーリング調査を進め、設計の進捗にあわせて、地元説明を行っているところです。事業延長3.4kmあり多くの地権者、自治会がおられますので、各自治会に説明を行い、ご理解を得て事業を進めていきます。
- ・文化財部局との協議の結果、この事業区間には、数箇所調査が必要となっています。文化財調査については、調査発掘、本発掘と2カ年必要です。関係機関と協議しつつ、効率的に進めて行きます。

○一般国道169号御所高取バイパス・高取バイパス

御所高取バイパスは4車線、高取バイパスは暫定2車線となるため、両工区の接続部でボトルネックとならないのか。

- ・ 奈良県内で同様に4車線から2車線になっている、国道165号桜井市脇本があり、交通量は19,808から13,609台/日となっていますが、渋滞は見られません
- ・ 御所高取バイパス・高取バイパスではR22計画交通量は17,100台・13,800台/日となっており、国道165号桜井市脇本と同じような状況ですので、今のところ、渋滞は発生しないと考えております。しかし、渋滞する可能性もありますので、交差点からなるべく離れた箇所で、車線数を減らすなど対策を検討していきます。

○桜井吉野線百市工区

将来交通量はなぜ増加するのか。

桜井吉野線は奈良県南部の川上村、上北山村、下北山村を通る国道169号から桜井市や橿原市を最短距離で結ぶ路線です。百市工区より南側の山間部ではトンネル等が供用しており、百市工区の整備により、当路線の利便性が向上し、併走する、国道370号や桜井明日香吉野線の交通が桜井吉野線に転換するものと考えられます。